

より環境に配慮した最終処分場を目指して

馬頭最終処分場 事業実施のための 環境影響評価

秋季

調査結果号

(9~11月)

栃木県では、最終処分場の設置が周辺環境にどのように影響を及ぼすかを予測・評価するため、昨年4月から環境影響評価を実施しています。

その予測・評価を行うためには、環境の状況を把握する必要がありますので、現在備中沢及びその周辺において環境調査を実施しています。

今回、環境調査のうち秋季調査結果がまとまりましたので、そのあらましをお知らせします。

環境現況調査の結果（秋季）

大気

窒素酸化物、浮遊粒子状物質を調査した結果、両項目とも環境基準値を下回っていました。

水質

平常時の河川流量を測定した結果、備中沢下流部で373m³/日、小口川下流部で17,300m³/日となりました。

騒音・振動

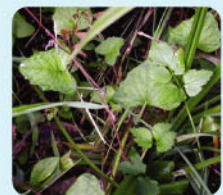
騒音レベルを調査した結果、昼間の平均騒音レベルは51dB、夜間は47dBとなりました。振動レベルを調査した結果、ほとんどの時間帯で30dB未満となりました。

植物

122科522種の陸上植物、水生植物が確認されました。このうち、レッドデータブック等に該当する貴重種（以下、貴重種）はミズマツバ、オオニガナなどの5科7種でした。



ミズマツバ



オオニガナ

動物

24目112科263種の動物が確認されました。このうち貴重種はオシドリ、トカゲ、ツマグロキチョウなどの10目16科23種でした。



ツマグロキチョウ

景観

搬入道路予定地と最終処分場予定地の現況を把握しました。

お問い合わせ先

- 栃木県 生活環境部 環境局 環境整備課 TEL 028-623-3227
- 那珂川町 環境整備対策室 TEL 0287-92-1110